

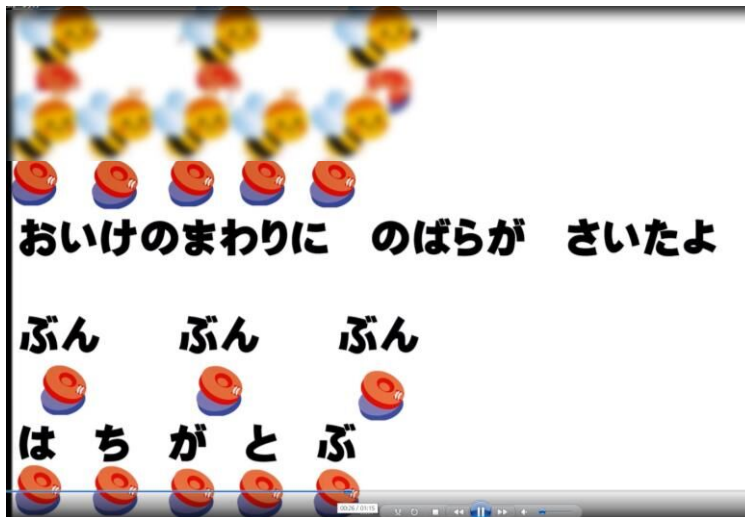
【教材名】
動く絵楽譜

【どんな場面】
教科：音楽 打楽器の演奏に使用

【対象】
・小学部高学年

【材料】
パワーポイント

【教材教具の写真】



【教材の工夫】
・動きのあるアニメーションと親しみやすいイラストを使用した。
・楽器を鳴らすタイミングで歌詞の上にイラストが現れるようにすることで、リズムよく楽器を鳴らすことができるようにした。

【成果と課題】
○映像を注視しながら、楽器の演奏をすることができた。
○導入としても楽しめるものとなった。
●PowerPointを動画にするときにイラストが現れるタイミングがずれてしまうことがあり、時間がかかった。

【教材名】
足し算オセロ

【どんな場面】

- ・ 数学
- ・ 一桁の足し算の利用

【対象】

- ・ 高等部 知的
- ・ 一桁の足し算ができる生徒

【材料】

- ・ 発泡スチロール
- ・ 紙
- ・ ラミネート

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 『Nine Break』というゲームに改良を加えて、ルールを簡単にした。
- ・ 数字に楽しく関わられるようなミニゲームにした。
- ・ 戦略をいろいろ考えられるので、簡単な計算でも高等部の生徒が楽しめるようにした。

【成果と課題】

- 計算の得意不得意に関係なく勝負をすることができた。
- ルールの理解はできても、プレイ中に見落としなどもあるので、最初は補助が必要。（1ゲーム5分程度）

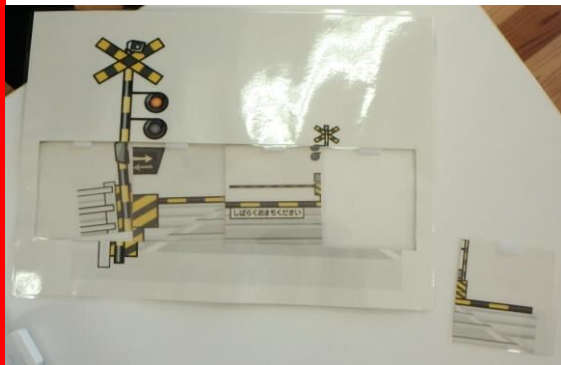
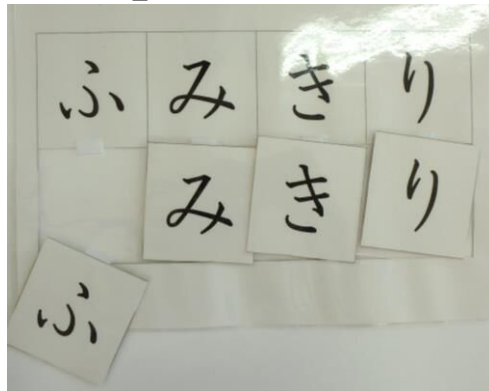
【教材名】
マッチングパズル

- 【どんな場面】**
- ・ 自立活動
 - ・ 国語 ことば

- 【対象】**
- ・ 平仮名を一文字ずつ読める児童生徒

- 【材料】**
- ・ カラーコピー
 - ・ ことばのコピー
 - ・ ラミネート用紙

【教材教具の写真】



- 【教材の工夫】**
- ・ 本人が好きなものを中心に作る。
 - ・ 文字のマッチングパズルを完成させて裏返すと、絵や写真（食べ物、乗り物）のパズルが完成しているという仕組み。

- 【成果と課題】**
- 好きなものなので、興味をもって発音の練習をしながらパズルのマッチングに取り組めた。
 - 学習と遊びの区別が難しく、パズルのピースを持って遊んでしまうことがある。

【教材名】
色いろいろ

【どんな場面】

- ・ 特別活動
- ・ 生活単元学習

【対象】

- ・ 小学部 知的

【材料】

- ・ 厚紙
- ・ 折り紙
- ・ ペン

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 折り紙の色から連想するもの（動植物など）を考え、ヒントを参考にして折られたものを当てることができるようにした。

【成果と課題】

- 楽しく折り紙の色から連想したものを言うことができた。
また、言葉によるヒントを参考に正解することができた。
- 盛り上がる曲がない。BGMなどで工夫したい。

【教材名】
どうぶつアイス

- 【どんな場面】
- ・ 特別活動
 - ・ 生活単元学習

- 【対象】
- ・ 小学部 知的

- 【材料】
- ・ 画用紙
 - ・ マジックテープ
 - ・ 割り箸
 - ・ ペン

【教材教具の写真】



- 【教材の工夫】
- ・ 10本のアイスクリームの色から味を連想したり、アイスの顔から動物（生き物）を当てたりできるようにした。

曲：教室にアイスが
○本
（10本までである。）

- 【成果と課題】
- 楽しく味を連想したり、生き物を当てたりできる。
 - アイスのコーンの形が丸みを帯びすぎたり、色が濃すぎたりしてアイスに見えなかった。

【教材名】

まんまるちゃん

【どんな場面】

- ・ 特別活動
- ・ 生活単元学習

【対象】

- ・ 小学部 知的

【材料】

- ・ 画用紙
- ・ クリアファイル
- ・ ペン

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

・ 曲に合わせて○色に合った丸い顔のキャラクターが姿を現すようにしました。

「まんまるちゃん
まんまるちゃん ま
んまーちゃん〜♪
○色した まんまー
るちゃん 一体 私
は 誰でしょう
ほーらほーらよくみ
てごらん♪」

【成果と課題】

- 楽しく色とキャラクターを知ることができた。
- サイズが小さく、バリエーションも六つしかない。

【教材名】

ともだちバス・ともだちトラック

【どんな場面】

- ・ 自立活動
- ・ 学部の子の写真をみて名前を言う

【対象】

- ・ 高等部重複

【材料】

- ・ バスやトラックのイラスト
- ・ ラミネートシート
- ・ 学部の生徒の顔写真

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 生徒が好きなバスやトラックに仲間を載せる。
- ・ 「しろやぎゆうびん」「バスに乗って」等、歌を歌いながら、本当に仲間とバスと一緒に乗ったり、トラックで活動をする気分を盛り上げる。

【成果と課題】

- 写真を見ながら名前の一部を覚えて呼ぶことができた。特に4月から知り合った仲間は、繰り返し取り組むうちに全員の名前を覚えることができた。
- 人と関わるのが好きなので、興味関心をもって写真を自分から選んで名前を呼ぶことができた。
- ふざけて遊んでしまうことがあった。

【教材名】
みらくるレンジ

【どんな場面】

- ・ 国語
- ・ 導入のおはなし

【対象】

- ・ 小学部

【材料】

- ・ スケッチブック
- ・ クリアファイル
- ・ 画用紙
- ・ イラスト（ラミネート）

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 児童が見て分かるように、「何になるかな？」と期待感をもって楽しめるようにした。
- ・ 児童が見るだけでなく参加できるように、電子レンジのスイッチを押したり、食べ物（イラスト）を入れたりできるとようにした。
- ・ 電子レンジに入れる食べ物の種類を増やすことで、食べ物の名前を覚えたり、言ったり、選んだりする学習ができるようにした。

【成果と課題】

- 活動内容が分かり「やりたい！」と手を挙げる意欲的な姿が見られた。
- 選んだカードの名前を教師が言ったり、尋ねたりすることで、ものの名前の学習に繋がった。

【教材名】
ボトライ

【どんな場面】
・ 自立活動

- 【対象】**
- ・ 小学部
 - ・ 中学部
 - ・ 高等部
 - ・ 手指を使った動作が苦手な生徒

- 【材料】**
- ・ 布用ボンド
 - ・ サイズの違うボタン
 - ・ 面ファスナー
 - ・ ワンタッチボタン
 - ・ など

【教材教具の写真】



- 【教材の工夫】**
- ・ 興味をもちやすいようにカラフルなフェルトを使用した。
 - ・ さまざまなボタンに取り組みやすいようにいくつか種類を用意した。

【成果と課題】

- 着替えなどにつなげることができた。
- ボタンをポケットなどにすると、より児童生徒の興味を引き出せるのではないかな。

【教材名】
コンパクト自販機

- 【どんな場面】**
- ・生活単元学習、数学
 - ・買い物学習の一環として使用

- 【対象】**
- ・ 中学部

- 【材料】**
- ・ iPad『Keynote』
 - ・ 段ボール
 - ・ プラダン

【教材教具の写真】



- 【教材の工夫】**
- ・ タッチすることで、選択した飲み物が落ちる動き。
 - ・ 音を付けて見て楽しめるようにしている。
 - ・ 児童生徒がお金を入れ、タッチすると、教師が後ろからドリンクやお釣りを出せるようにしている。
 - ・ 値段のボタン部分以外は反応しない設定。

【成果と課題】

- 自分で選べるわくわく感や達成感があってよい。
- ボタン式の自販機があってもよいのでは。
- タップミスや画面のタッチが難しい生徒がいた。
→iPadのタップミスについて、iPadタッチャーやスイッチ教材などを活用するとよいかもしれない。

【教材名】
オリエンテーション用動画

【どんな場面】
・生活単元学習（校外学習の事前学習）での、学習内容の紹介動画。

【対象】
・小学部

【使用したもの】

- ・ iPad
- ・ iMovie

【教材教具の写真】



【教材の工夫】
・活動の時系列と動画の進行が同じになるようにした。
・注意してほしい点に効果音を入れることで注意を惹くようにした。
・出演する教師に楽しい雰囲気を出してもらうことで、活動を楽しみにしてもらえるようにした。

【成果と課題】

- 児童が、一日の流れを理解し、活動の見通しをもって動いていた。
- 活動内容が分かって、校外学習を楽しみにすることが出来た。
- 実際に活動が児童の見通しと違うと、イライラする場面があった。

【教材名】
事前学習★

【どんな場面】
・生活単元学習（遠足の事前学習）

【対象】
・小学部

【材料】

- ・ PowerPoint
- ・ Surface
- ・ カレンダー
- ・ カード、シール

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 見通しがもてるように、道順や目的地での活動等の写真と動画を提示した。
- ・ 遠足当日までの活動をカレンダーにして提示し、活動が終わる度にシールを貼った。
- ・ 行き先の写真入りのカードを作成し、毎時間歩いた後シールを貼るようにした。

【成果と課題】

- 写真や動画があることで、どの児童も興味を示していた。
- カードを見て行き先を確認したり、歩き終わった後にシールを貼って喜んだりする姿が見られ、意欲的に取り組んでいた。
- 写真や動画を含め、遠足に関する内容を盛り込みすぎると情報が膨大になってしまう。→ポイントを絞って伝える。

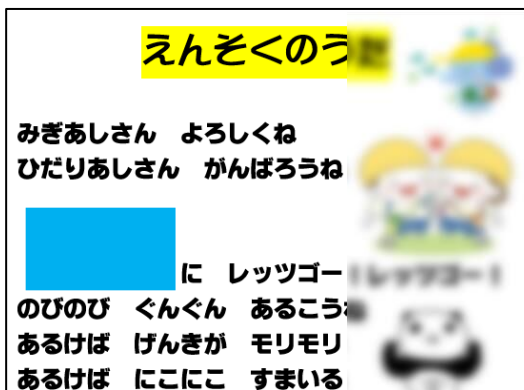
【教材名】
事前学習 ♪

【どんな場面】
・生活単元学習（遠足の事前学習、当日）

【対象】
・小学部

【材料】
・iPad
・スピーカー
・歌詞

【教材教具の写真】



【教材の工夫】
・歌詞に合った振りをつけた。
・毎時間活動の最初に歌う（踊る）ようにし、これから活動が始まることを意識できるようにした。
・目的地に応じて、
[redacted] の部分（行き先カード）を変えられるようにした。

【成果と課題】

○毎時間歌う（踊る）ことで、「今から遠足の取組が始まるんだな」と楽しみにする姿や、「今日は〇〇まで頑張って歩くんだな」と目的地を意識する姿が見られた。
○歌詞に合った振付を踊ることで、歩く前の良いウォーミングアップになった。

【教材名】

こころとからだ～じぶんとほかのひと～

【どんな場面】

- ・生活単元学習
- ・性教育

【対象】

- ・小学部高学年

【材料】

- ・教師用PC
- ・パワーポイント教材
- ・模造紙
- ・ラミネート教材

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・子供たちにとって分かりやすいイラストの使用や、イラストが動くことで興味をもてるようにした。
- ・スライドを見た後で、実際に模造紙にラミネート教材を貼る活動を作り、視覚的に自分と他の人との距離を分かりやすく示せるようにした。

【成果と課題】

○パワーポイント教材に興味を持って見たり、実際にカードを貼ったりする活動を通して、自分と他の人との違い（関係や親しさの度合い）について、考えようとする事ができた。

【教材名】
はてなボックス

【どんな場面】
・授業の導入（食育、調理活動など）

【対象】
・全学部

【材料】
・ダンボール
・色画用紙

【教材教具の写真】



【教材の工夫】
・中が見えないようにして、興味がもてるようにした。
・カラフルなカラーにして楽しそうなイメージをもってもらえるようにした。

【成果と課題】

- 児童が興味をもって、楽しそうに取り組む姿があった。
- 触る以外にもにおいを嗅いだりなどのほかの用途でも使えそうなので、他の授業にも活用していきたい。
- 穴が少し大きく、隙間から見えてしまいそうなので、排水溝ゴムパッキンなどで穴が見えないようにするとよい。

【教材名】

地震が起きたその時に・・・

【どんな場面】

- ・ 防災教育
- ・ 生活単元学習

【対象】

- ・ 高等部

【材料】

- ・ 模造紙
- ・ Word

【教材教具の写真】



地震が起きた時・・・どんな気持ちになるのかな？

や先生たちの、シミュレーションや基本先生の話を聞いて自分のイライラポイントも、
三浦隆「ロールアウト」で表そう。
※ ○：全然平気 △：まあまあイライラ！ ×：絶対に嫌！イライラ！！

できごと	○△△	できごと	○△△
大雨・雷等の音		お風呂に入れない	
緊急メールが続く・・・		母体が痛い	
足音・話し声		家族が何事か分からない	
小さい子の泣き声			
怒っている声			
イライラしている人			

やでは、ふとメモをつけたできごとを記憶や想像で表す方法を考えよう。
震動の揺り動かし方・リラックス方法・・・作業や日常的に行っている動はあまるかな？
震人だできごと

対応法（震動の揺り動かし方・リラックス法）



【教材の工夫】

- ・ 地震が起きた時の様子を想像しやすいように図や写真を用いた。

【成果と課題】

○軽度知的障がい、中度知的障がいのある生徒に向けて、段階に応じて活動を組み立てることができた。また、体験活動を多く取り入れたことで、興味をもつ姿があった。

●導入時に、生徒に課題を提示する際に、チャート式にしたり表で表したりするなどして、より考えが深まるように実態に応じて教材を工夫する必要がある。

Googleマップを使いこなそう

【どんな場面】

- ・生活単元学習
- ・校外学習に向けた取り組みの一環として使用

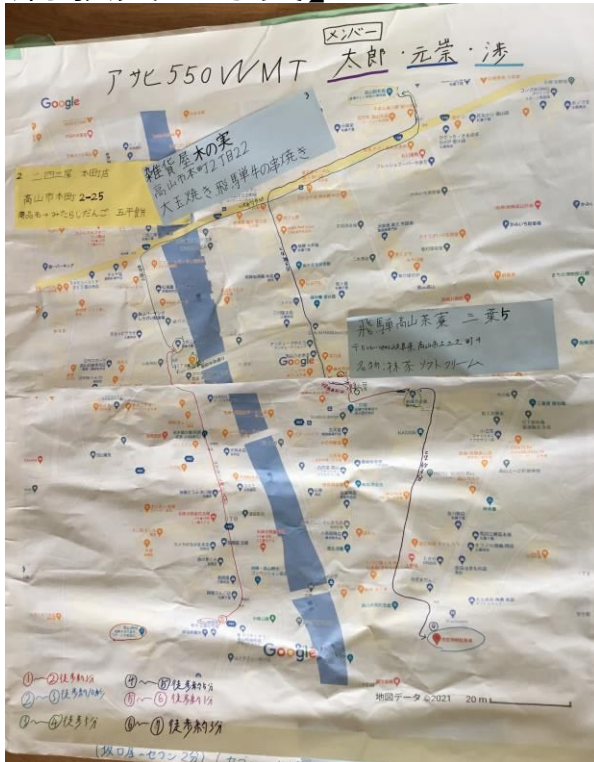
【対象】

- ・高等部（知的学級）

【材料】

- iPad
- Google マップ^o

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・ 今後使う可能性の高いGoogleマップを使用。
- ・ 生徒のiPhoneにも入れることができる。

【成果と課題】

- ストリートビュー等も使いながら日程を考える活動につなげることができる。
- 生徒が持っているスマホに入っているアプリを使用することで、今後の生活につなげることができる。
- 使用したアプリでは、徒歩でかかる時間や住所が分かりづらかった。

【教材名】

ふりかえり新聞

【どんな場面】

- ・生活単元学習
- ・一学期のふりかえり

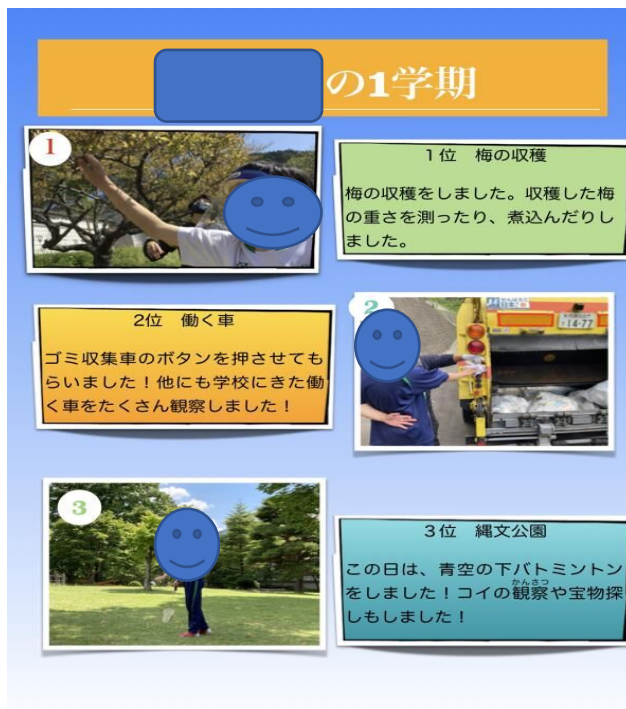
【対象】

- ・中学部

【材料】

- ・iPad『keynote』
- ・ワークシート
- ・A4厚紙

【教材教具の写真】



【教材の工夫】

- ・レイアウトができるように枠をあらかじめ設けた。
- ・キーボードのかな文字入力
- ・発表時、重複学級の生徒はスイッチでiPadを操作。

【成果と課題】

- iPadでまとめを行うことで、書字が苦手な生徒も積極的に取り組めた。
- A4サイズの新聞にしたことで、学習の成果やがんばりを家庭に持ち帰ることができ、保護者とも共有することができた。
- iPadを操作していく中で「こんな機能もある」と発見し、自分で工夫しながら主体的に取り組む姿があった。